

組合支援 ウォッチ

日本一の大型仏壇「すす払い」

高さ6.5尺、幅3.8尺、奥行2.5尺、重量2ト。日本一の大きさを誇る大型仏壇は、平成4年3月20日に完成した。通常の展示してある状態を見てもその大きさは圧巻であるが、人が中に入っている様を見るとその大きさを再認識させられた。

「来年は酉年ということもあり、毛ばたきを新調しました。」そう笑顔で語るのは、八女福島仏壇仏具協同組合の鶴信行理事長である。

この「すす払い」は、一年間でお仏壇に積もったちりやほこりを取り除くとともに、厄も取り払おうというもの。同組合でも、大型仏壇が完成した翌年の平成5年から青年部が中心となって行ってきたが、青年部員の減少により現在は組合主体で行っている。

さて、大型仏壇のために新たに用意したのは、ダチョウの羽根で作られた縦40cm、横40cmの巨大な毛ばたきであった。これは、以前まで使用していたものの約2倍の大きさにあたる。さらに、その毛ばたきを2mの竹の棒に括り付けて、全長2m40cmの毛ばたきの完成である。この毛ばたきなどを使ってほこりなどを仏壇の下部から横からとはたいていくわけであるが、仏壇に施され

ている彫刻部分は非常に繊細であり、毛ばたきの芯棒にあててしまうと、彫刻が欠けてしまう可能性があるため慎重に行わなければならない。まさに、“日本一”大胆かつ繊細な作業である。

大型仏壇制作当時は71名であった組合員も時代や経営環境の変化により、現在は29名と半数以下にまで減少している。そのような中、鶴理事長は「先輩たちが作った大型仏壇を誇りに思い、大切にしながら地元八女福島仏壇のPRにつなげていきたい。」と意気込んでいた。

すす払いの後には、「家庭用の仏壇仏具も綺麗にして新年をお迎え頂きたい。」との考えから、今回より仏壇仏具のお手入れの仕方「ワンポイントアドバイス」も実施。仏壇職人自らが講師となり、真鍮、金メッキや色付きの仏具の種類別の磨き方や仏壇本体の手入れ方法について実演が行われ、一般の参加者たちも熱心に聞き入っていた。

同組合では、この他にも仏壇仏具展示会や使わなくなった仏壇の供養祭など各種イベントを実施している。ご興味のあるかたはぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか？



仏壇職人によるお手入れ方法の実演

今回新調した毛ばたき



すす払いの様子

組合データ

組合名：八女福島仏壇仏具協同組合
住 所：八女市本町2番地の123の2
八女伝統工芸館内
理事長：鶴 信行
T E L：0943-24-3941
H P：http://yamebutsudan.or.jp